

堺のヒト・モノ・世界をつなぐ

堺IPC

SAKAI CITY INDUSTRIAL PROMOTION CENTER

www.sakai-ipc.jp

PRESS

●特集

堺の製造企業

実は堺！まさかの堺！

株式会社パイモア / 株式会社ミツギロン / 株式会社山徳



●モノダン×モノジョ 8

設計事業を個人創業

将来は国産部品メーカーへ。

ものクリエ 中野絵里さん

●さかいモノ語り 11

“人生を輝かせる”表彰商品を

アキツ工業株式会社

2016.1
VOL.

38



case
01
チャレンジ精神で
美容業界に旋風を

形状記憶デジタルパーマのマシンからパーマ剤、美容院専売シャンプーやコンディショナーなどのヘアケア用品を企画開発・製造を行っている。イタリア製の原材料を使うなど、自社独自のレシピによるヘアケア用品は、プロから高い評価を獲得。美容院のオリジナルブランドのOEM生産も行っている。

堺のデジタルパーマを世界へ。

株式会社パイモア 中村安衛社長

「物のはじまりやなんでも堺」と新堺音頭で唄われているように、鉄砲や線香、タバコ、包丁、堺織通など、貿易都市・商業都市として発展した中世の堺で生まれ、全国に広められたものが数多くあります。そして、現代においても、誰もが知っている「あの製品」が、実は堺生まれだった。今号は、私たちの身近で活躍している商品や技術を生み出した堺市の企業を3社ご紹介しましょう。

巻きもしっかり、しかも長持ち 人気のデジタルパーマ

最近、美容院で新しいパーマとして定着しつつあるデジタルパーマ。その装置と施工方法を独自に開発し特許を持っているのは、堺市堺区に本社を置く株式会社パイモアです。「形状記憶デジタルパーマ」で商標登録も取得しており、正式にデジタルパーマと称することができるのは、パイモア製だけなのです。

デジタルパーマとは、一般のコールドパーマが薬剤のみでパーマをかけるのに対し、そこに熱を加えることで形状記憶力を高め、パーマがしっかりと強めにかかることや長持ちすることが利点として挙げられます。リッジ感の強い、つまり巻きのしっかりしたウエーブを実現できるのも特徴だとか。また、従来のコールドパーマは、乾かしながらセットしなけ

ればならないのに対し、デジタルパーマは乾くとウエーブが出てくるため、前の夜にしっかりと乾かしておけば、翌朝のスタイリングが楽なことも人気の理由のようです。

「昔の電気パーマに似たものが他社で作られ、韓国で広まったことがありましたが、加熱し過ぎるといった安全性に問題があり日本では認可がおりませんでした。当社は全く違う方式でデジタルパーマを11年前に開発。世の女性達に待ち望まれていたのか、発売当初から年間1500台から1800台の受注がありました」と中村安衛社長は語っています。

美容業界ひと筋50年 安全で良質の製品を自社開発で

中村社長は、18歳で美容商品を取り扱う卸会社に就職してから今日まで美容業界ひと筋。1973年に26歳で独立した最初は、前の勤め先と同じく美容院に材料を卸していたそうですが、やがて美容ハサミを扱うようになった時には、仕入れた製品をそのまま販売するのではなく、使い勝手などを工夫したオリジナル製品に仕立て直していたとか。パーマ液も自社企画の製品を1991年から販売しています。

「製品を仕入れて売るだけのビジネスでは勝てないと考えていました。自社の味付けを施し、それによって他社製品と

の差別化を図れる強みを持つことです」（中村社長）。例えば、美容院専売のシャンプーやコンディショナーといったバイモアのヘアケア製品は、成分の安全性や質にこだわる人たちの間で大変な人気を誇っています。

「新人の美容師さんの中には、毎日お客さまのシャンプーをするうちに腕全体がかぶれてしまう方がいます。その主な原因は、シャンプーに含まれるラウレス系原料で、現在、市場に出回っているほとんどのシャンプーにそれが含まれています。それを使えば原価を低く抑えることができますが、当社製品では一切使っておりません。お客様の健康を犠牲にしてまで利益を上げる事業を行わないというのが私の考えです」と中村社長は語っています。

デジタルパーマの伝道師は、 元美容師の社員たち

同社では、元美容師の社員をインストラクターとして美容院に派遣しています。デジタルパーマを正しく理解してもらうことで、その効果を最大限に発揮させたいと語るのは、ご自身も元美容師で、美容師専門学校で指導をしていたこともあるという開発部の今井誠二次長。最近では海外の美容院を巡ることが増えたといいます。

「人種や生活環境が異なり、髪質も

全く違う世界の人も、本物を求めている気持ちは同じ。海外に行くとき、メイド・イン・ジャパンに対する高い信頼をひしひしと感じますね」。現在は、韓国に関連会社を有しているほか、香港やシンガポール、ヨーロッパ、カナダ、アメリカへと販売網を拡大しつつあるパイモア。堺生まれのデジタルパーマやヘアケア製品が、世界の女性たちをより美しく、幸せな気持ちにしてくれるのは誇らしいことです。

痛みのひどいヨーロッパの 女性たちの髪をもっと美しく

「これからも自然体でやっていだけ」と語る中村社長。趣味は、若い頃と変わらず車とか。外国製高級車を複数台所有し、乗り回している。商談で訪れたヨーロッパの街で、ほとんどの女性たちがヘアケアに対する意識の低いことを目の当たりにし、自社のオリジナル製品を世界へも広めるべく社員を派遣している。



株式会社パイモア



◀「形状記憶デジタルパーマ」は全3タイプ。写真は「Digital PermⅢ AL」と「Digital PermⅢ ワゴンタイプ」(右)で、ワゴンタイプはマシンの中に必要な用具が一式収納できるようにになっている。



代表者名/代表取締役社長 中村安衛
本社/堺市堺区新町5-28
TEL/072-221-1888
設立/1973年創業 1994年設立
資本金/5,000万円
従業員数/81名
事業内容/美容業界における材料販売
<http://www.paimore.com/>



case

02

高度な成型技術が
独創的な製品を実現

パイプハンガーの製造・販売で創業して50年。今では、家庭用品をはじめ、農業用品や家電・自動車向け部品、道路保安用品、電力・ガス会社向け用品など8分野で、独創的な発想で企画開発された製品を世に送り続けている。近い将来には、運送コストの低減やリスクの分散をねらいとして、東日本に新工場を開設する予定。

「あればいいかも」を製品に。

株式会社ミツギロン 森本典志社長

足が冷たいなら、浴室でも長靴
ユニークな発想が大ヒット製品に

昭和世代の人には懐かしいのではないのでしょうか。プラスチック製のパイプ状ハンガー。どこの家にも必ずあったあのハンガーを生み出した企業が、堺市北区にある株式会社ミツギロンです。商品誕生のきっかけを森本典志社長にうかがいました。

「山口県から集団就職で大阪に出てきた先代が、勤め先が突然倒産して困っていた時に、取引先だったプラスチック成型会社で捨てられていたパイプの端材から思いついたそうです。当時のハンガーは粗悪な木製が主流で、木のささくれが衣服の生地を傷めていたんですね。初めて取り扱ってくださったのは某有名百貨店でした。しかし、そこに至るまでが大変な苦勞で、知り合いの間屋さんに日参し、無償で仕事を手伝いながら売り込みをお願いしたそうです」。

さらに、ミツギロンで開発され、今ではどの家庭でも見かけるものとしては、浴室で履くお風呂ブーツもあります。「今のユニットバスとは違い、昔の浴室はタイル張りが多く、冬は裸足でお風呂掃除するのが冷たくつらい家事でした。じゃあ、屋内でも長靴を履いたっていいじゃないかという発想で開発されたものです」（森本社長）。特許が切れた1985年から他社もこぞつ

て製造し、価格競争も激化しています
が、唯一の国産メーカーとして、現在
も樹脂の質や作りにこだわり、作り続
けています。

コストの計算などは二次 子供の面白がる発想を大切に

今ではさまざまなところで活躍する
蛇腹ホースも同社の開発製品です。洗
濯機の排水用ホースとして、折れると
水の流れがそこで止まる問題の解決を
求められて考案したものでしたとか。
今や、洗濯機だけでなくエアコンや掃
除機などに用途は広がっています。

全国でこれほど普及率の高い、誰も
が知っている商品を次々と生み出して
いる理由について、森本社長は「創業
時から変わらず大切にしているのは
『子供心』での発想です。『こんなもの
があると面白いんじゃないか、便利な
んじゃないか』と思いついたアイデア
をすぐに形にしてみました。他社なら
気にかけるであろう需要の見込みだと
かコスト計算は二の次なんです
(笑)。それがミツギロンのものづくり
なんです。『あると便利でしょ』という
私たちのアイデアを消費者の多くの方
に共感いただけた時、その商品は
大ヒットするんだと思いますね」と語っ
ています。

ホームページにも「真似られること

はあっても真似てつくる事は創業以来
一度もなかった」と謳っているように、
自社独自の商品開発力を誇るミツギロ
ン。全社員の10%が開発部門の仕事
を担っているのは驚かされます。例え
ば、消防法の規制が厳しい発炎筒の代
わりに、超高輝度発光ダイオードを
使ったスパークメーカーも、事故処理
を行うJAFの隊員たちに毎年殉職者
が出るという話から誕生した製品なの
だとか。今では警察や消防署などでも
採用されています。

アジアへの販路開拓を視野に ベトナムに生産拠点を開設

もちろん、アイデアを商品化できる
技術力についても同社は、樹脂中空成
型技術の分野で、世界一精度が高く生
産効率も従来の3倍以上という成型機
を自社開発しているほか、押出成型に
ついても、非常に難しい中空層を持つ
た保温・保冷ケースの製造を手がける
ほどの技術力を誇っています。また、
金型加工など優れた技術を持つ取引先
企業とのネットワークを大切にしてい
ることも、同社のものづくりに大きく
寄与しているようです。そして、つい
にその技術が海を渡ることになりまし
た。技術と設備を提供する形で、ベト
ナムに生産拠点を設ける予定です。ゆ
くゆくは東南アジアに販路を拡大した

いと考えられています。

今後の新商品については、再び、洗
濯用品に着目したいと森本社長。「最
近、洗濯用品売り場に行っても、ワク
ワクすることがなくなりましたよね。
それはメーカーの怠慢だと思うわけ
です。『仕方がないか』といった小さな不
便や不満は表に出てきませんが、そこ
を見つけてのが私たちの仕事です」。

これからは身近になるベトナムの暮
らしの知恵からも、新しい商品の暮
トがもらえるのではと期待されていま
す。

新商品のヒントは、街を歩いても、 お客様と話をしても。

「お客様と話をしていて、『こんなのがあつたらえのにな』と冗談で言われたことを商品にして驚かれることもあります。当社の8事業も、経営戦略によるものではなく、さまざまな方との出会いから自然に生まれ広がってきたものですね(笑)」と森本社長。
東日本大震災後で被災した日本唯一の液体肥料メーカーの生産ラインを預かり、復興を支援中。



株式会社ミツギロン



◀生乾き臭防止のために作られた除菌消臭クリーナー「ホタテをポレン」や、唐辛子の成分カブサイシンを混入したカラスよけネットなどユニークな商品ラインナップ

代表者名／代表取締役社長 森本典志
本社／堺市北区南花田町212-1
TEL／072-257-7281
設立／1961年創業 1970年設立
資本金／4,200万円
従業員数／44名
事業内容／生活用品、工業用品、土木建築建材など、プラスチック製品の企画・製造・販売
<http://www.mitsugiron.co.jp/>



case
03

海苔の製造販売で 九十余年の老舗企業

1921年に、海苔や干びょう、シヤタケなどを扱う乾物商として創業。おにぎり海苔シートやワンカット細巻き海苔シートを自社開発したほか、衛生管理面でも生産部門から物流、営業、情報システム部までが一体となって取り組む独自のシステム「SAMURAI (侍)」を構築するなど、業界の先駆者的存在。

海苔への思いを今、新たに。

株式会社山徳 汲田喬宏取締役

**戦後、物資の少ない時代に
生み出された味付け海苔**

私たちが日頃、朝食やおにぎりでご親しんでいる味付け海苔を、先駆けて関西で初めて商品化したのは、堺市美原区にある株式会社山徳です。物資が豊かではなかった戦後に、海苔をおいしく食べる製法を研究し、世に送り出したのが創業者・汲田徳三郎氏でした。

今日、山徳の海苔の年間生産量は約2億1600枚で、日本全国の生産枚数71億枚(2015年度)の約3%を占めます。その背景には、同社の強みとして、時代のニーズを見据えて対応してきた商品開発力や技術力がありました。例えば、お馴染みのコンビニおにぎり。薄いフィルムを引っ張って、巻きたてのようなパリッとした海苔の食感を楽しむ仕組みを共同開発したほか、「おにぎりがあるって、なぜ手巻き寿司がないのか」という声から、巻きたての海苔の風味が楽しめる手巻き寿司を、機械から開発(特許取得)しています。

汲田喬宏取締役は「当社の経営理念にも掲げていますが、社員全員が起業家精神をもって日々の業務に臨んでおり、展示会などさまざまな機会にヒントを得て、新商品に結びつくアイデアを考えています。また、当社はそれをトップに提案しやすい

企業風土を作っていますね」と語っています。

製品の用途で産地を使い分けるこだわり

アイデアが商品化された具体的な例としては、金属に刻印するレーザーマーカ―がヒントとなって実現した、文字などの描かれる「模様付き板海苔」をはじめ、動物や植物の形にカットされた「型抜き海苔」があります。企業のロゴを入れた記念品や結婚式の引き出し物として活用されたり、某アイドルグループのオリジナルグッズとして星型海苔の入ったふりかけが作られるなど、海苔の新たな需要拡大に貢献しているようです。

製品の用途によって海苔の産地を変えているのは、海苔製品のメーカーとして強いこだわりです。「海苔の原草は、有明産も瀬戸内産も同じスサビノリですが、海流や環境によって性質が異なります。干潟で栄養分が多く、日光によく当たっているため甘みの強い有明産の海苔は、味付け海苔や手巻き寿司に向いていますし、速い海流の中で育ち、仕立てのしつかりした瀬戸内産海苔は湿つても割れることがないので、巻き寿司に向いていますね」と汲田取締役。その年の原草の良し悪しに関係なく、商

品の品質を安定させるための買い付けの苦労もあるようです。

百年の計ともいうべき最高の製品で創業の志を次代へ

日本人の海苔好きは変わることはありませんが、今も需要の開拓、販路の拡大に向けて手を緩めることはありません。別の商材で取引のある得意先へ、海苔を使ったメニューの提案を行うこともあります。海外に向けては、すでに販路を持っているカナダとオーストラリアのほかに、海苔を使う食べ物が多いと聞くブラジルへの進出も検討しています。

5年後に創業100周年を迎える山徳では、長年に培ってきた全ての技術を結集させた最高級味付け海苔を開発、発売しています。予算という枠を外して、考えうる最高の原料と最高の技術を注ぎ込んだ味付け海苔を作ってみたいという社員の思いから商品開発がスタート。高級砂糖の和三盆に独自の比率で水飴を加えたものを使用しているほか、設備製造ラインもそれ専用で改造しました。何度も試作を重ねて実現したのは、パリッとした硬さがありながら、口の中ではふわっと溶けていく味付け海苔。上品で芳醇な味と香りが楽しめる、同社のフラッグシップともい

える製品で、創業者の名前から「徳三郎シリーズ」と名付けられています。

誰もが知っている、つまり普及率が高いということが意味するのは、人々のニーズを確実にキャッチできているということに他なりません。高品質というだけでなく、売れるために必要な情報への感度、マーケティング、営業力もそなえた堺のものがづくり。まるで貿易都市として栄えた頃に、堺の鉄砲などを全国に売り歩いた堺商人のDNAが脈々と息づいているようにも思えました。

株式会社山徳



◀山徳の全てを注ぎ込んで生まれたという「徳三郎シリーズ」には、しょう油味の「匠」、塩味の「趣」、しそ味の「涼」がある。

代表者名／代表取締役社長 汲田博之
本社／堺市美原区大饗100-1
TEL／072-362-2257
設立／1921年創業 1973年設立
資本金／3,000万円
従業員数／131名
事業内容／海苔・乾物その他一般食糧の卸売、焼海苔・味付け海苔の製造加工販売
<http://www.yamatoku.co.jp/company/>

地域に愛される企業をめざして「のり海苔祭り」を開催



山徳の1日の生産処理枚数は、海苔を縦につなげると大阪から名古屋を超えるほどの量に達するとか。全国に販売網を広げる同社だが、一方で地域に愛される企業でありたいと汲田取締役は語る。「数年前から年に4回、「のり海苔祭り」を本社で開催しています。当社製品を手頃な価格でお分けしているほか、社員が全国を訪ね歩くなかで知った、各地のおいしいものを集めて販売しています。百貨店の物産展のようで楽しみとおっしゃっていただいていますね」。

平成28年 堺刃物まつり

平成28年2月13日(土)～14日(日) 午前10時～午後4時

入場無料

2016 Sakai Knife Festival

“平成28年 堺刃物まつり”を2月13日(土)、14日(日)の2日間、堺市産業振興センターで開催します。

堺刃物の展示や販売をはじめ、古式鍛錬実演、刃物の製造工程紹介、刃物クリニック、マグロ解体ショー、中華料理研究家の程一彦さんによるトークショーなど多彩な催しをご用意し、皆さまのご来場をお待ちしています。



CHECK!

- ▶ 刃物クリニック【包丁・はさみの研ぎ直し(有料)】は、毎年大好評の催しです。対応できる数に限りがあり、先着順となりますのでお早めにお越しください。包丁の銘切り・柄付けの実演も行っています。
- ▶ ステージには、堺市立月州中学校吹奏楽部(海外でも活躍中のオレスカバンドを輩出!)が初出演するほか、ザビエコくん、サカエル&みそさかい、すいちゃんなど、人気のさかいゆるキャラも登場予定です。
- ▶ 恒例のそば打ち実演販売に加え、グルメブースのパワーアップも企画中です。

日 時	平成28年2月13日(土)～14日(日) 午前10時～午後4時
場 所	堺市産業振興センター (堺市北区長曾根町183-5)南海高野線・泉北高速鉄道「中百舌鳥」駅、又は地下鉄御堂筋線「なかもず」駅から約300m
主 催	堺刃物まつり実行委員会
費 用	入場無料
お問い合わせ	堺刃物商工業協同組合連合会 072-233-0118

堺の刃物メーカー、食品商社がASEAN・シンガポールで市場開拓 シンガポール「Oishii JAPAN 2015」

平成27年10月22日～24日、シンガポールで開催されたASEAN市場最大級の日本食品見本市「Oishii JAPAN 2015」に、堺市企業3社が参加。堺打刃物や昆布や醤油、こんにゃくなど堺ゆかりの製品で商談会にのぞみました。

今回、堺市からシンガポールの展示会に参加したのは、青木刃物、和泉利器の包丁メーカーと食品商社の誠晃貿易。

堺の包丁は米国を中心に海外でも知られていますが、ASEAN地域ではまだまだ。Takashimaya Singapore、Isetan Singapore Orchard、Isetan Singapore Jurong East、TANGSなど、シンガポールの有名デパートにも和包丁は1本も置かれておらず、知名度・浸透度ともにこれからだと言えます。

しかし、裏を返せば、約1,000軒の日本食レストランがひしめくシンガポールは、開拓を待っている有望市場。こういった展示会をきっかけに、一気に市場に浸透する可能性があります。このことは、食品にもあてはまり、良質な堺産の食材は、包丁と同じように和食という切り口から、シンガポールをはじめとするASEAN市場に挑戦することができます。

実際に、各企業とも、今回の商談会で成果を上げ、今後の展開に手ごたえを感じていました。また、商談会の合い間には、CIA(Culinary Institute of America)や東京寿司アカデミーといっ

た現地の料理学校を訪問して、包丁や食材のPRも行い、今後の展開に大いに期待が持てる商談会参加となりました。



サンテック・シンガポール国際会議展示場



👑 ものを作る、明日を創る。

モノダン × モノジョ

堺市内で活躍する若手社員「モノダン(ものづくり男子)×モノジョ(ものづくり女子)」を毎号ご紹介します。



設計事業を個人創業 将来は国産部品メーカーへ。

機械の設計業務を担う「ものクリエ」を、個人事業で立ち上げたのは中野絵理さん。男性の多いものづくりの現場において、まだまだ珍しい女性設計者です。

「最初の打ち合わせ時などで、女性ということで一步引かれるのですが、現場で機械の下にもぐって寸法を測ったり、図面を引いたりしているうちに信頼いただけるようになります。難しい課題をいただいても決してあきらめませんし、先方の意向を丁寧に聞いて応えるようにしています」と語っています。強みは、設計だけでなく、製造、組立までを一貫して請け負うトータルマネジメント力。かつて勤務していた真空装置メー

カーで製造部長まで務めたことから、機械の製造過程に詳しく、最適な加工方法の提案や加工会社の紹介ができるほか、組立にも立ち会うなど、納品されるまで責任を持って見届けるなど、なかなか他にない設計者です。さらに、これまでに築いた大学の研究者とのネットワークから開発に必要な情報を入手できるのも中野さんの大きな優位点です。

近い将来には設計者を雇用し、現在は輸入製品に頼っている真空関連機器や電位を測る分析装置などの国産部品メーカーを立ち上げたいと語る中野さん。優れた日本のものづくりを次代につなぐ一人です。



👤 代表取締役 中野絵理さん

「小さい頃からプラモデルを作ったり、機械を分解したりするのが大好きでしたが、転職した真空装置メーカーで図面描きを一から教わるまではずっと事務職でした。私が図面を引いた研究装置が某国立大学の研究所に納品され稼働するのも見たときは感動しましたね」と語る中野さん。趣味はバイク。現在は650ccに乗っている。



ものクリエ

創業は2015年5月。真空装置をはじめ、半導体関連から粉体ミキサーといった産業機械までの開発から製造までを担い、技術者不足に悩むものづくり企業をサポート。一方、ステンレスなど工業用素材を使用したオリジナルインテリア雑貨の開発・製造も行い、東急ハンズのハンズギャラリーマーケットで販売している。

本社／堺市北区長曾根町 130-42 さかい新事業創造センター
TEL.072-256-4367 <http://mono-crea.com/>

堺市中小企業融資制度のご案内

◎堺市経営安定特別資金

経営環境が厳しい中、売上高の減少などにより資金調達が困難な市内中小企業者を対象とした融資です。

製造業の方が事業承継資金として利用する場合、事業者が堺市産業振興センターに支払う年1.15%以下の信用保証料を堺市が全額負担します。

融資条件

- 融資限度額 = 5,000万円
- 金 利 = 年1.3%
- 融 資 期 間 = 運転資金・設備資金10年以内
- 信用保証料 = 年1.15%以下(製造業の方が事業承継資金として利用される場合は堺市が全額負担)※申込には不動産などの担保が必要になるほか、対象となる業種など一定の要件があります。

その他、創業のための資金や設備投資のための資金などの融資(いずれも担保が必要)もありますので、堺市のホームページをご覧ください。堺市産業振興センターまでお問い合わせください。

【お問合わせ先・申込先】 公益財団法人堺市産業振興センター 金融支援課
〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5
TEL 072-255-8484 FAX 072-255-5162
(融資お客様専用ダイヤル)フリーダイヤル 0120-072-232
堺市HPアドレス: <http://www.city.sakai.lg.jp/> から「堺市中小企業融資制度」で検索してください

平成27年度「堺優良従業員・堺技能功労者表彰式」

— 企業・地域経済発展など功績のある122名を表彰 —

10月29日(木)、堺市産業振興センターイベントホールにおいて、堺市内の事業所等に勤務する従業員で、特に企業の発展に貢献があった方々をより広く顕彰し勤労意欲の向上に資することを目的とした「堺優良従業員表彰」及び、堺市内で功労顕著な技能者の社会的・経済的地位と技能水準の向上を図ることを目的とした「堺技能功労者表彰」の表彰式が開催されました。両表彰は、毎年、堺市と堺商工会議所が共催で実施しているもので、今年は122名(73事業所)が栄える表彰を受け、「永年表彰」「功労者表彰」については前田堺商工会議所会頭から、「産業ルネサンス表彰」「堺技能功労者表彰」については竹山堺市長から、それぞれ市長・会頭連名の表彰楯が授与されました。各部門別表彰内訳(順不同・敬称略)は以下のとおりです。

《堺優良従業員表彰》112名

◆永年表彰 78名

◆功労者表彰 30名

対 象：勤続年数を問わず、特に功労があった従業員

◆産業ルネサンス表彰 4名

甲斐 秀一 株式会社 クボタ 堺製造所

事 績：農業機械のエンジン機械加工ラインにおいて、コスト・品質・生産性能力の面で特にネックになっているラインをS-TPIモデルラインとして重点的に改善した。

古野 文雄 株式会社クボタ 堺製造所

事 績：自脱型・普通型コンバインの製品開発において、生産性及び品質の向上やコストダウンを図り、新製品の開発等に大きく貢献した。

2200ライン 楠本 靖明 株式会社梅川鉄工所

事 績：新規受注品である「フロントハウジング」のライン立ち上げに際し、問題点の抽出・対策の実施を重ね、設備費の抑制と人員削減に貢献した。

原国 英三 三洋金属熱錬工業 株式会社

事 績：長年生産部に携わり、鋳造品のオーステンパー処理を行うビット型熱処理炉を最新型の燃焼バーナーと燃焼制御システムに設備改造することで、省エネ、生産性向上に貢献した。

《堺技能功労者表彰》10名

対 象：堺市域の産業振興及び業界全体の振興・発展に貢献している功労顕著な技能者

受賞者：大崎 秀夫(株式会社 林工業) 岡田 幸(サチフローラルデザイン) 岡村 哲伸(堺デザイン協会) 楠根 啓喜(株式会社 林工業) 富樫 憲幸(富樫打刃物製作所) 中西 良雄(富田電機 株式会社) 野間口 淳(シャープ化学工業 株式会社) 平安 隆一(有限会社 鳳文堂印舗) 八上 幸正(八上松竹堂) 山本 幸司(有限会社 一心堂)

受賞者氏名等、詳細につきましては、堺市ホームページ下記アドレスをご覧ください。

http://www.city.sakai.lg.jp/sangyo/careerweb/matome_best/hyoshoshiki.html

首都圏で堺の魅力を発信!

イオンモール幕張新都心「堺フェア」に出展しました



11月14日(土)、15日(日)の2日間、イオンのフラッグシップモール(旗艦店)であるイオンモール幕張新都心で開催された「堺フェア」に出展し、刃物や線香、昆布、和菓子など堺の産品を展示販売しました。また、「首都圏でガンバル堺企業」として株式会社ナカニ、タマノイ酢株式会社の参加による企業PRと販売、注染の実演、和菓子づくりの実演、茶の湯の体験なども実施され、会場は多くのお客様でにぎわいました。



14日土曜日は、竹山堺市長、前田堺商工会議所会頭も駆けつけ、世界文化遺産登録をめざす百舌鳥・古市古墳群や「さかい利晶の杜」をはじめ堺の観光魅力をトップセールス。さらには、大阪出身の人気お笑いコンビNON STYLEも登場。板前経験を持つ石田さんが、「板前時代は堺の包丁にお世話になってましたよ」「丈夫ですし、一生使えます」とすかさず堺刃物を宣伝。堺市長らとの掛け合いや堺〇×クイズなども行われ、会場は大いに盛り上がりました

堺工業技術研究会 新規会員募集中!!

堺工業技術研究会とは

堺工業技術研究会は昭和31年に堺市内の中小企業が集まり設立された異業種交流団体です。当会では、工業見学を通じた会員相互の交流・情報交換や経営合理化及び技術向上に資する取り組みや、新たな事業展開のための研究会・講演会などの事業を実施しています。新規入会を希望される方は、お気軽にお問合せください。

対象

堺市内に拠点を有する製造業企業

活動内容

- ◆総会講演会・新年講演会：事業活動に資する内容の各種セミナー
- ◆小研究会：会員企業をはじめとした地元企業の工場見学や事業に資する内容の講演会等
- ◆優良施設等見学会：全国の優良企業の工場見学
- ◆周年記念事業：海外企業視察
- ◆施策情報の提供：補助金、ビジネスマッチング、人材育成、優遇制度などの支援施策の情報提供
- ◆会費：月額 5,000円

問合せ先

〒590-0078 堺市堺区南瓦町3-1
堺工業技術研究会事務局(堺市ものづくり支援課内)
TEL:072-228-7534 FAX:072-228-8816
ホームページ <http://www.kougiken.net/mt/>

堺工業技術研究会 平成28年新年講演会

「持続的成長を実現する経営戦略 ～新たなコア技術の獲得による事業拡大～」

平成27年6月に東京証券取引所マザーズ市場に上場を果たされた(株)中村超硬の井上社長を講師にお招きし、株式上場と事業拡大に至るまでの経緯や、成長産業を見据えた技術開発や経営戦略などについてご講演いただきます。ぜひともふるってご参加ください。

開催日時 平成28年1月25日(月)16時～17時30分

会場 ホテル・アゴラリージェンシー堺 3F
ガーデンコート(堺市堺区戎島町4-45-1)

講師 株式会社中村超硬
代表取締役社長 井上 誠 氏

定員 80名(先着順)

受講料 1,000円(会員は無料)

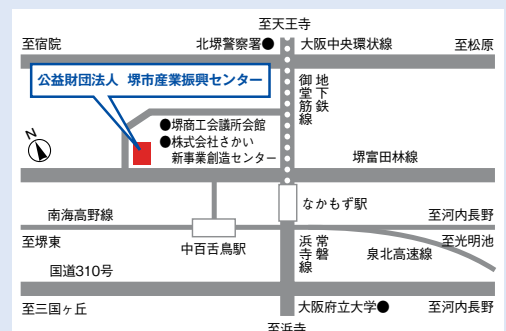
申込方法 同封のチラシに必要事項を記載のうえ、
FAXにてお申し込みください。



中小企業を全力応援 公益財団法人 堺市産業振興センター

堺市産業振興センターでは、経営相談や技術開発支援、各種セミナーなど研修に関する事業、堺市内中小企業に対する融資関連事業、地場産業の紹介・製品展示・販路開拓に関する事業、情報誌やホームページ・メールマガジンなどによる産業情報発信、イベントホールや会議室などの貸出事業と多種多様なサービスでビジネスをサポートしています。

〒591-8025 堺市北区長曾根町183-5
TEL.072-255-3311 (代) FAX.072-255-5200
<http://www.sakai-ipc.jp/>



◎南海高野線中百舌鳥駅より約300m◎地下鉄御堂筋線なかもず駅より約300m※駐車場は、隣接の来客用駐車場(無料)がございますが、できるだけ電車・バスなどの公共交通機関をご利用ください。

さ
か
い
mono
モノ
語
り

“人生を輝かせる” 表彰商品を

「家の中に飾りたくなるデザイン性の高い商品を」と小川真紀社長が語るように、アキツ工業株式会社の表彰記念品「WIN」ブランドのラインナップは、まるでインテリア用品かアート作品かと思間違うばかりです。

例えば、アートセレクションと称されるシリーズは、ガラスや和紙、陶芸といった伝統工芸の有名家による受注生産の一点もので、なかでもユニークなのは、通常の食器としても使うことができる輪島塗の「The King's Cup」と「Kizashi」でしょう。「The King's Cup」は、銀彩の施された麻布のドレープが独創的。日本の漆に魅せられ来日して25年、その独特の世界に国内外に多くのファンを持つ英国人作家スーザン・ロスさんによるもので、小川社長の「表彰商品をもっと日常で親しんでほしい」という思いと、ロス

んの漆器に対する同じ思いが共感し合ったといいます。「自分が社会に認められ役立っていると知った幸せや喜びを、表彰されたその一瞬ではなく、日々の生活の中で思い出し、新たな力にしていきたい」と小川社長。使い込めば使いこむほど味わいが増すという輪島塗は、同社のその思いをカタチにした新時代の表彰記念品のようです。



透明度の高い光学ガラスに、自由にメッセージを印刷することのできるイーザーオーダー商品の「ローズリング」と「ローズボトル」。華やかなデザインから女性社員の多い化粧品会社などの企業表彰で人気が高く、「この瓶が欲しいから頑張る」という社員もいらしたとか。

アキツ工業株式会社



小川真紀社長

今年創業50周年を迎えた同社の強みは、商品の企画から製造までを一貫して行っているところにあり、独創的な自社オリジナル製品は何百種類と豊富なラインナップを誇っています。また、時間のかかる名入れを中2日で加工するなど、短納期を実現しているのも総合メーカーならではの強みでしょう。サンドブラスト加工や2D&3D加工、カラー印刷などの技術を駆使した名入れは、長いメッセージにも対応。表彰ばかりでなく、全社員の誕生日に、一人ひとりに向けた言葉を楯にして贈られた経営者もいらしたとか。また、結婚式の両親

へのお礼のメッセージや定年退職の日の感謝のメッセージといったプライベートなイベントで活用されるケースも増え、微笑ましい例では、お孫さんからおばあちゃんへのプレゼントに使われたことも。「魂に響く表彰記念品は、その人の人生を変える」という同社の思いから、青少年の非行防止を目的にスタートした「大阪メチャハッピー祭」や新しいスポーツ団体の普及活動も支援しています。

● 本社 / 堺市美原区木材通4-3-13 ☎072-363-0500
http://www.wininc.jp